

第 42 回 山口県下医師会立看護学院（校）対抗 バレーボール大会

と き 平成 29 年 6 月 25 日（日）9 時～16 時

ところ 山口市・維新百年記念公園スポーツ文化センター

[報告 : 徳山医師会担当理事 / 大会実行委員長 小野 薫]

第 42 回となる山口県下医師会立看護学院（校）対抗バレーボール大会が、6 月 25 日（日）に維新百年記念公園スポーツ文化センター（山口市）にて開催されました。

県下には医師会立の看護学院・学校が 8 つありますが、そこから 21 チーム（男子 12 チーム、女子 9 チーム）が参加し、トーナメント方式で熱戦を繰り広げました（応援含めると 724 名が参加！）。

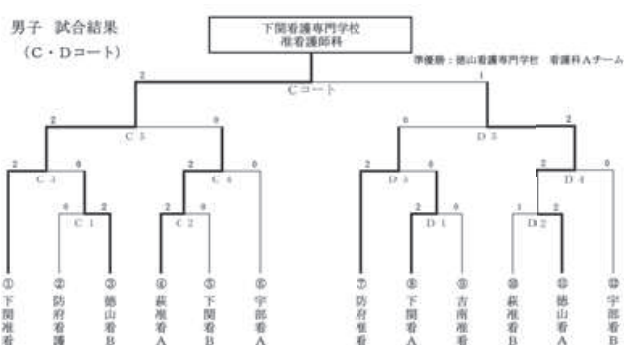
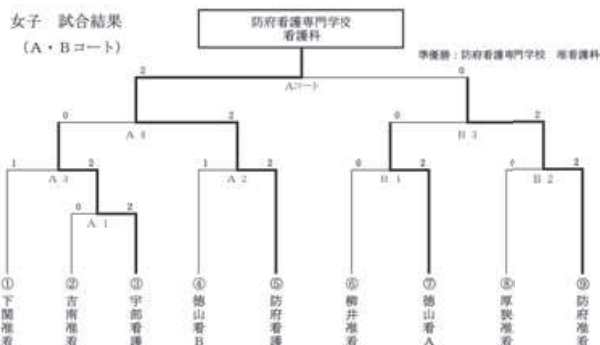
熱戦の結果、女子決勝は、上背のあるアタッカーとパワフルなアタッカー 2 枚を擁し、3 連覇

の中の下関看護専門学校准看護師科を破って波に乗る防府看護専門学校看護科と、全員小柄ながら、サウスポーアタッカーを中心に抜群のチームワークで勝ち上がった同准看護科の同門対決となりました。23 - 21、21 - 19 のスコアが示すとおり手に汗握るシーソーゲームでしたが、上背とパワーに勝る防府看護科が接戦を制し優勝しました。

一方、男子は（女子が混ざるチームもあります）、ジャンプサーブと強烈アタックを容赦なく打ち込む今大会 No.1 選手を擁する下関看護専門学校准看護師科と、ネット上高くからうなりを上げて沈み込むドライブサーブのキャプテンと小柄な女子 3 人が堅実なレシーブで脇を固める我が徳山看護専門学校 A との決勝となりました。こちらも決勝に相応しい大接戦！先に第 1 セットを取った徳看が、2 セット目もリードする展開で、あとちょっとで逃げ切り！ってとこまで行きましたが、上記実力アタッカーの存在が徐々に大きくなり、第 2 セットを奪われセットオール。第 3 セットはドライブサーブが 1 本で止められてしまったのが響



試 合 結 果



いて徳看は力尽きたのでした（19－21、21－18、22－20）。しかし、強烈アタックを恐れもせず、体を張ったブロック、レシーブをする選手たちに感動しました（涙）。

さて、42 回の歴史を持つこのバレーボール大会ですが、学校の規模（学生数）に大きな差があるため、参加ならびにチーム編成すら大変な学校があり、継続が危うくなっているようです。このたびの運営は徳山看護専門学校がさせて頂きましたが、ある程度の規模があるからできることでもあります（1 学年定員 70 名 × 3 学年 今回総勢 129 名が参加）。准看護科しかない学校と両方持つ学校では当然規模が違いますので、小規模校の大会運営は難しいと思います。また、規模が小さいということは選手層も薄く、勝てるチームが編成しにくい面もあると思います。そうすると今のトーナメント方式では、遠くからバスで来て 1 回戦で終わると、何のために…ともなりかねません。大会自体は学生同士の結束も生まれとてもよいと思います。我々医療の世界は、チームプレーで、戦略を練り、失敗も糧にしなが、常に勝利を

目指すものです（色んな勝利の形があるけれど）。専門学校ではなかなかスポーツを通して皆が団結する機会はないと思うので、本当に有意義な大会だと思います。是非、全ての学校が Win-Win の関係となる落しどころを見つけて頂きたいと思います。

大会にあたりましては、審判等で山口市バレーボール協会の皆様には大変お世話になりました。また、山口県医師会よりご出席下さいました沖中芳彦 先生、事務局の方、次回大会会長となる矢野忠生 先生（宇部市医師会長）、最後までありがとうございました。負傷者 2 名を快く診て下さった「とよた整形外科クリニック」の豊田耕一郎 先生（当日の山口市休日在宅当番医）、この場を借りてお礼申し上げます。最後にご参加下さった県下看護学校の学生さん、先生方、そして大会運営を立派に務められた徳山看護専門学校の皆さん、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。次回は宇部看護専門学校が引き受けとなります。来年もこの素晴らしい大会でお会いしましょう！

